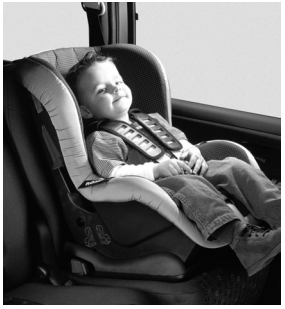
HONDA
The Power of Dreams

Honda Kids ISOFIX

取扱説明書

このたびは、Honda純正用品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき大切に本体の収納ボックスに保管してください。
●当商品をISOFIXでお使いになる場合は、汎用型ISOFIXの認可を受けた車両にのみ使用可能です。適用車種以外の車に取り付けた場合の責任は一切負えませんのでご承知おきください。
●商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。



Honda Access

Honda Kids ISOFIX
取扱説明書

Honda Kids ISOFIXは、お子様の成長期を安全に過ごすお手伝いをいたします。

お子様をしっかり保護するために、Honda Kids ISOFIXの使用と取り付けは、必ず取扱説明書に従ってください。

目次

1. マーク表示について ……2
2. 認可、適合性 ……3
3. 車両内での使用 ……3
3.1 汎用型 ISOFIX取付装置を使う場合 ……3
3.2 車両シートベルトを使う場合 ……3
4. 各部の名称と同梱品 ……4
5. 車両内での取り付けと取り外し ……5
5.1 汎用型 ISOFIX取付装置を使う場合 ……5
5.2 車両シートベルトを使う場合 ……7
6. お子様の安全 ……9
6.1 肩ベルトの調節 ……9
6.2 肩ベルトを緩める ……9
6.3 お子様のシートベルトを締める ……10
6.4 肩ベルトを締める ……10
6.5 バックルの機能 ……11
6.6 お子様の安全の確認 ……12
7. リクライニング機構（3段階）……12
8. 保護性能の維持 ……12
9. お手入れ方法 ……13
9.1 カバーの取り外し ……13
9.2 カバーの取り付け ……14
9.3 ベルトの取り外し ……15
9.4 ベルトの取り付け ……16
10. 廃棄方法 ……17
11. 次のチャイルドシート ……17

1.　マーク表示について

必ずお使いになる前にお読みください。

当商品は、お子さまの命を守る重要な役目を果す商品ですが、取扱説明書の指示に従わないと本来の機能をはたさず、事故に合われた時にお子さまが死亡または重大な傷害を負う恐れがあります。
取扱説明書を必ずお読みいただき十分ご理解のうえ、正しくご使用くださるようお願い致します。

●本書では、運転者や他の人が傷害を負ったりする可能性のあることを下記の表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。
これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険

● **指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの**

⚠警告

● **指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの**

⚠注意

● **指示に従わないと、傷害をうける可能性があるもの**

●当商品に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。
しっかりお読みください。

アドバイス

・当商品が故障、破損するのを防ぐためアドバイスを記載しています。
・異常事態の処置方法を記載しています。
・当商品を確実にお取り付けして頂くためのアドバイスを記載しています。

知識

知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なことを記載しています。

2. 認可、適合性

チャイルドシート	ECE* R 44/04 に基づく試験と認定	
	グループ	体重
Honda Kids ISOFIX	I	9〜 18 kg

*ECE =安全装置用欧州基準

3. 車両内での使用

次の2つの方法で取り付けることができます。

汎用型ISOFIX
取付装置を使う

ロアアンカレッジ

トップテザー
アンカレッジ

車両シートベルトを使う

3.1 汎用型 ISOFIX 取付装置を使う場合

重要:

汎用型 ISOFIX 取付装置を使った取り付けは、ECE R 44/04 に従って、ロアアンカレッジおよびトップテザーアンカレッジを装備したすべての車両で認可されています。車両取扱説明書で、ISOFIX サイズカテゴリB_1 およびチャイルドシート体重クラス9〜18kg、用に認可されているシートについてご確認ください。

前向き	○
座席に固定する： ロアアンカレッジ（座面と背もたれの間）と トップテザーアンカレッジを使う	○

3.2 車両シートベルトを使う場合

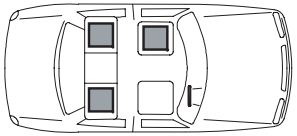
1）ベルトは、ECE R 16（あるいは同様の基準）に従って認定されたものでなくてはいけません。ベルトの合格ラベルにある丸で囲まれた「E」、「e」など。

2）フロントエアバッグが装備されている場合：車両座席を後ろに大きく引きます。車両取扱説明書の指示説明を参照してください。

3）3点式ベルトの場合は使用できます。

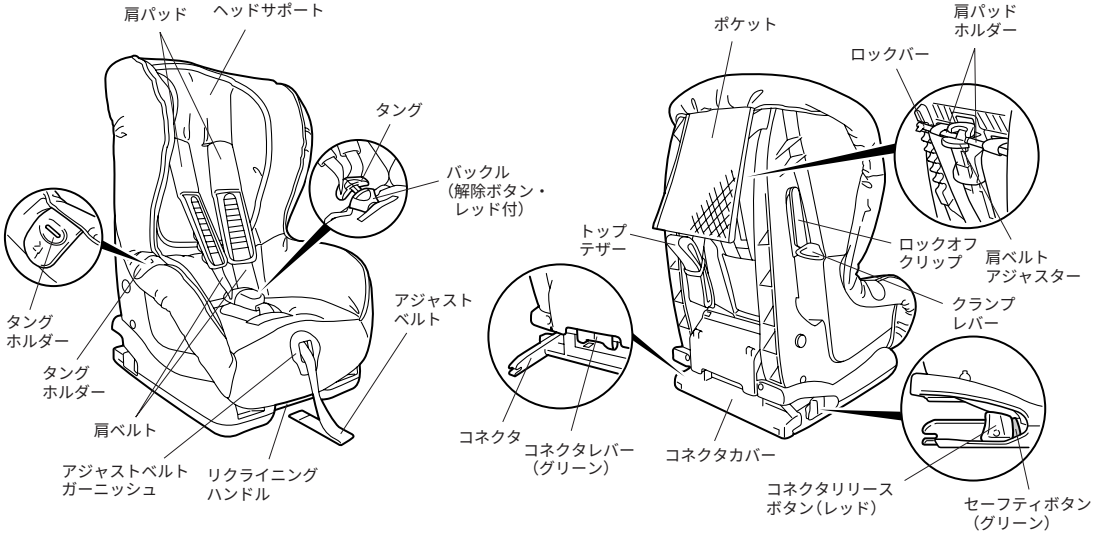
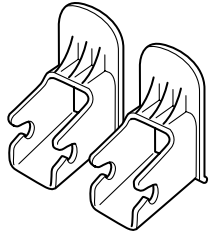
4）2点式ベルトを使用すると、事故の場合にお子様が怪我をする危険があります。

前向き	○
後ろ向き	×
2点式ベルト	× 4)
3点式ベルト	○ 1)
助手席での使用	○ 2)
後座席の窓側席での使用	○
後座席の真ん中の席	× 3)



車両取扱説明書で、チャイルドシート使用についての一般的な指示説明、特に、エアバッグとの併用についての指示説明をご確認ください。

4.　各部の名称と同梱品

チャイルドシート	同梱品
	 ガイドカップ（2個） 取扱説明書

5. 車両内での取り付けと取り外し

5.1 汎用型ISOFIX取付装置を使う場合

トップテザーを使う利点

Honda Kids ISOFIX には、トップテザーが装備されており、ISOFIX 取り付けしたチャイルドシートと車両座席の連結の安定性を高めます。これにより、怪我の危険をさらに軽減します。

Honda Kids ISOFIX は、ECE R44/04に従ったロアアンカレッジおよびトップテザーアンカレッジを装備したすべての車両でお使いいただけます。車両取扱説明書の指示説明をご確認ください。

トップテザーは、Honda Kids ISOFIX のシートシェルの後ろ上部にあるポケットに入っています。

車両内のトップテザーアンカレッジ

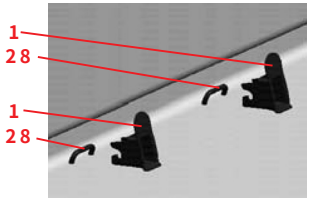
車両にトップテザーアンカレッジが装備されている場合は、次のいずれかの位置にあります。

・シェルフの上
・フロアの上
・背もたれの後ろ

車両取扱説明書の指示説明をご確認ください。穴、ネジ、アンカーの取付などご自分で車両を改造しないでください。トップテザーは車両メーカーが推奨しない位置には取り付けないでください。トップテザーが事故の際に外れると、乗員が怪我をする危険があります。

肩ベルトを調節し（6.1を参照）、チャイルドシートを次のようにロアアンカレッジおよびトップテザーアンカレッジを使って取り付けます。

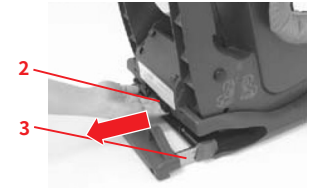
1. ロアアンカレッジを準備します



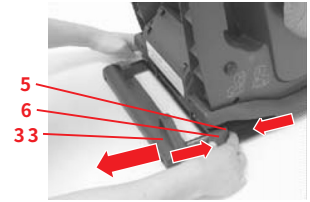
知識

両方のガイドカップ*(1)を車両座席の両方のロアアンカレッジ(28)（座面と背もたれの間にあります）の上に留めます。みぞを上に向けます。

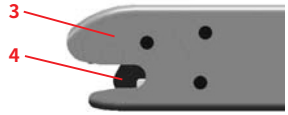
*ガイドカップはコネクタ(3)の車両ロアアンカレッジ(28)への取り付けを容易にし、シートカバーの破損を防ぎます。使用しない場合は取り外して保管してください。シートリクライニング機構のある車両では、リクライニングする前にガイドカップを取り外します。コネクタ(3)のロックの機能トラブルの多くは、ガイドカップとホックの汚れが原因です。汚れを取り除いて機能トラブルを解決します。

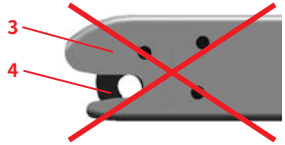


↘ コネクタレバー（グリーン）(2)を持って両方のコネクタ(3)がロックするまで引き出します。

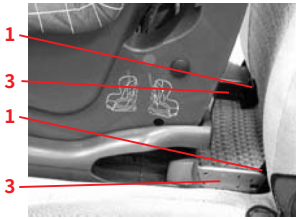


↘ セーフティボタン（グリーン）(5)とコネクタリリースボタン（レッド）(6)を矢印の方に押して、コネクタカバー(33)を取り外します。
・外したコネクタカバー(33)は保管してください。

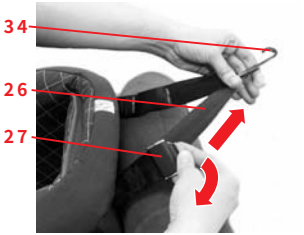




- 両方のコネクタ(3)のホック(4)は開いていなければなりません。
  ホックを開けるには、セーフティボタン(グリーン)(5)とコネクタリリースボタン（レッド）(6)を押します（前頁参照）。

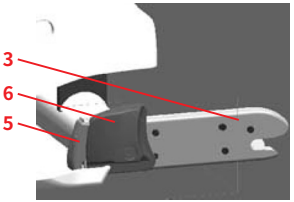


- 両方のコネクタ(3)が両方のガイドカップ(1)の直ぐ前にくるように本体を車両シートにセットします。



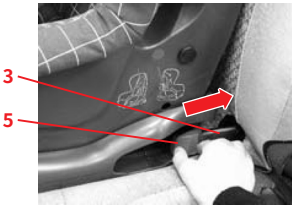
2. トップテザーを準備します

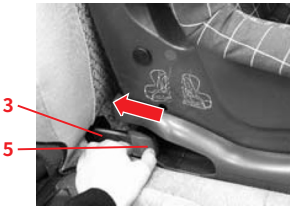
- トップテザーをポケットから取り出します。
- テザーアジャスター(27)をベルト(26)から押し出して、ベルトがV-形になるようにトップテザーフック(34)を引きます。
- ベルトを車両座席の後ろにします。



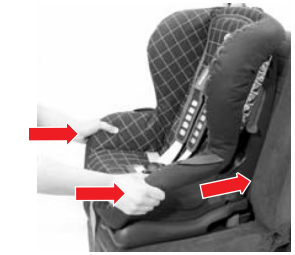
3. ISOFIXコネクタの取り付け

- セーフティボタン（グリーン）(5)の片側を後ろに押して、コネクタ(3)を取り付けます（「カチッ」）。
  ・この時、セーフティボタン（グリーン）(5)のグリーンのマークが見えていることを確認してください。

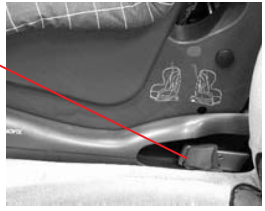




- セーフティボタン（グリーン）(5)のもう一方の側を後ろに押して、コネクタ(3)を取り付けます（「カチッ」）。

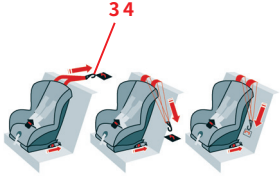


- チャイルドシート本体の両側を左図の様にしっかりと均一にシートバックへ押し付けます。



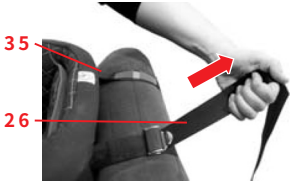
- 両側を引っ張って、しっかり.固定されていることを確認します。

  ・両側にセーフティボタン（グリーン）(5)のグリーンのマークが見えていることを確認してください。



4. トップテザーを取り付ける

- トップテザーフック(34)をトップテザーアンカレッジ(シェルフの上、フロアの上、または、シートバックの後ろ)に取り付けます。



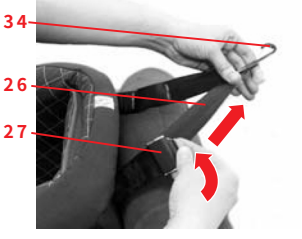
- トップテザーベルトにある緑色のテンションインジケーター(35)がトップテザーにぴったりするまでゆるみを取り除きトップテザーのベルト(26)を締めます。

⚠注意

正しい取り付けの確認

お子様の安全のために、次の点を確認してください...

- **チャイルドシートが車両にしっかり取り付けられている。**
- **コネクタがロアアンカレッジにしっかり取り付けられている。**
- **トップテザーが緩みなく取り付けられている。**



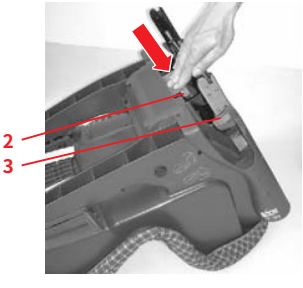
取り外し

- コネクタを外すには、セーフティボタン（グリーン）(5)とコネクタリリースボタン（レッド）(6)を一緒に押して、先ず片側を外し、次にもう一方の側を外します。コネクタ(3)が外れます。

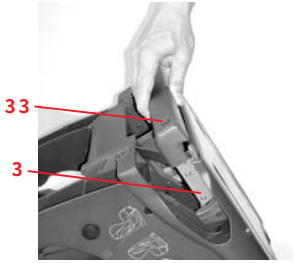
- トップテザーを外すには、まず、調節のテザーアジャスター(27)を持ち上げてベルト(26)を緩めます。次にトップテザーフックをトップテザーアンカレッジから外します。

5.2 車両シートベルトを使う場合

肩ベルトを調節し（6.1を参照）、チャイルドシートを次のように3点式車両シートベルトを使って取り付けます。



- ISOFIX コネクタ(3)のコネクタレバー（グリーン）(2)を完全に本体中側に押し込みます。



コネクタ(3)にコネクタカバー*(33)を装着します。

アドバイス

*ISOFIX コネクタ(3)を使用しない場合には、コネクタカバー(33)で保護します。また、チャイルドシートを3点式シートベルトで取り付ける場合に、このコネクタカバー(33)で車両のシート表面を保護します。

シートベルトを引き出してベルトガイド(7)に通します。

タングをベルトバックルに差し込みます。

差し込んだベルトバックルの反対側にあるクランプレバー(8)を下に回して、車両の肩側シートベルトをロックオフクリップ(9)の間に差し込みます。

チャイルドシートに体重を掛けます(座席に押しつけます)。**同時に**車両の肩側シートベルトを強く引いて締めてシートベルトのゆるみを取り除き（張りを維持します）、クランプレバー(8)を上に回しロックします。

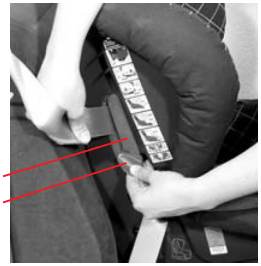
ロックオフクリップ(9)が閉じている場合、張力を調整するには車両の肩側シートベルトを引き抜きます。

⚠注意

正しい取り付けの確認

お子様の安全のために、次の点を確認してください...

- **チャイルドシートが車両内にしっかり取り付けられている。**
- **シートベルトはしっかり締められており、ねじれていない。**
- **シートベルトのタングとベルトバックルはチャイルドシートのベルトガイドの中にはない。**
- **車両の肩側シートベルトはシートベルトバックルの反対側にあるロックオフクリップだけで留められている。**



取り外し

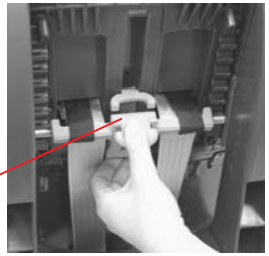
- チャイルドシートを取り外すには、シートベルトバックルを解除し、肩側シートベルトを軽く押してロックオフクリップ(9)から引き出します。
- この反対方向への動きで内部にあるベルトクランプがはずれ、クランプレバー(8)を簡単に開くことができます。

6. お子様の安全

6.1 肩ベルトの調節

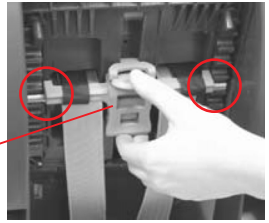
チャイルドシートを車両内に取り付ける前に、肩ベルトの高さがお子様に合わせて調節されていることを確認してください。お子様をチャイルドシートに座らせます。

・肩ベルト(10)は**お子様の肩と同じ高さか、**または、**少し上の位置**にくるようにします。



次のように肩ベルトを調節します。

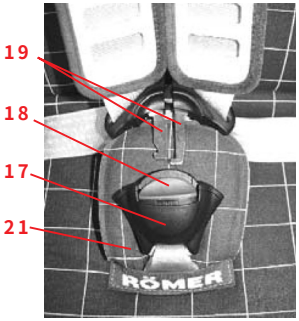
- ベルトをできるだけ緩めます(6.2を参照)。
- 本体の後側にある肩ベルトアジャスターの(14)ボタンを下に押して、肩ベルトアジャスター(14)を手前に倒します。



- 肩ベルトアジャスター(14)を押し、肩ベルトの高さを正しく調節して両側のバーで確実に固定します。

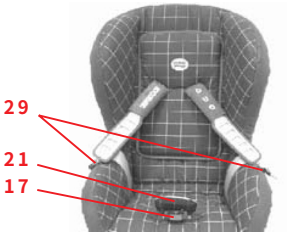
6.2 肩ベルトを緩める

片手でアジャストボタン(15)を押し、もう一方の手で両方の肩ベルト(10)を同時に前に引きます（肩パッド(11)を**引っ張らないでください**。）。

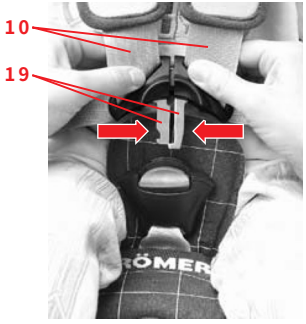


6.3 お子様のシートベルトを締める

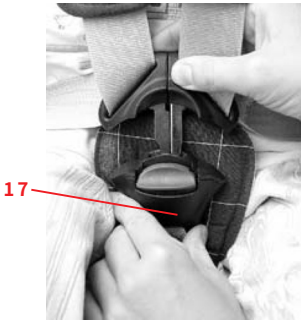
- 解除ボタン（レッド）(18)を押して、チャイルドシートのバックル(17)を開きます。
- 肩ベルトを緩めます（6.2を参照）。



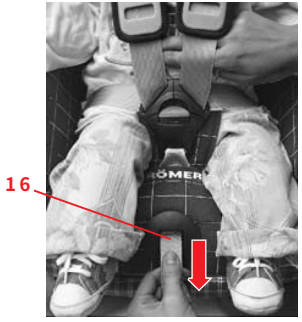
- 左右のタング(19)の先端をタングホルダー(29)に差し込みます。
- バックルクッション(21)とバックル(17)を前に倒します。
- お子様をチャイルドシートに座らせます。
- 左右のタング(19)をタングホルダー(29)から外します。



- 肩ベルト(10)をお子様の肩の上に掛けます。（ベルトが**ねじれない**ようにします。）
- 両方のタング(19)を揃えます...



- ...次に、バックル(17)内で「カチッ」と音がするように差し込みます。
- ベルトがお子様の体にぴったりするように締めます（6.4を参照）。



6.4 肩ベルトを締める

- アジャストベルト(16)を引きます。上や下に引かずに、**真っ直ぐ前に**引きます。

6.5 バックルの機能

ベルトバックルの大切な役割は安全維持です。
ベルトバックルの機能トラブルの多くは汚れが原因です。

機能トラブルの例

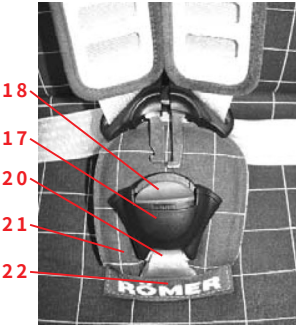
・赤いボタンを押しても、タングをすぐに取り外せない。

・タングを差し込めない（また、取り出すこともできない）。

・タングを差し込む時に「カチッ」という音がしない。

・タングを差し込む時に引っ掛かる（柔らかい感じ）。

・力を入れないとバックルが開かない。



対処方法

1.バックルベルト(20)の取り外し

↘ 解除ボタン（レッド）(18)を押して、バックル(17)を解除します。
ベルトを緩めます（6.2参照）。
バックルクッション(21)のベルクロテープを外します。
本体をリクライニング状態にします（7を参照）。
本体の下を持ち、バックルベルト(20)を固定している金属プレートをつかみます。
金属プレートをベルト穴(22)に縦に通し外します。

2.バックル(17)の洗浄

↘ バックル(17)を最低1時間お湯に漬けます（場合によっては洗剤を溶かします）。その後すすいでよく乾かします。

3.バックルベルト(20)の取り付け

↘ 金属プレートを、上から下に向かってカバーのベルト穴(22)に縦に通して、本体に押し込みます。バックルベルト(20)を引いて、しっかり固定していることを確認します。
バックルクッション(21)のベルクロテープをバックルベルト(20)に通して取り付けます。

機能トラブル

・バックル・タングをベルトバックルに差し込めない。

対処

↘ 一度解除ボタン（レッド）(18)を押します。

6.6　お子様の安全の確認

⚠注意

お子様の安全のために、次の点を確認してください…

- **チャイルドシートのベルトは身体にぴたっりしていて、お子様を締めつけている。**
- **肩ベルトが正しく調節されている。**
- **肩パッドが体にぴったりしている。**
- **ベルトがねじれていない。**
- **タングがバックルにしっかり差し込まれている。**

7.　リクライニング機構（3段階）

本体は3段階の位置
（1段目・一番起きた位置，2段目，3段目）に調節できます。
但し車両に取り付けた後はリクライニングできません。

⇘ リクライニングハンドル(23)を引き上げ、リクライニング位置を変えます。

本体はそれぞれの位置で固定されていなければいけません。本体を引っ張って動かして、固定されていることを確認します。

8.　保護性能の維持

・チャイルドシートは、子供用安全装置の欧州基準（ECE R 44/04）に従って設計、試験、認定されています。合格マークE（丸印内）と認定番号は、認定ラベル（チャイルドシートに貼付してあるシール）にあります。

・定期的に重要な部分に破損がないかどうか点検してください。

⚠注意

- **時速10kmを越える衝撃速度の事故の際には、チャイルドシートに破損が生じることがありますので再使用しないでください。**
- **この子供用安全装置の保護性能は、正しく使用し、取扱説明書に従って取り付けた場合に得られます。**
- **チャイルドシートの改造を行わないでください（チャイルドシートに改造を加えた場合は、認可は取り消されます。）。**
- **Honda Kids ISOFIXは車両内のお子様の安全を目的として使用します。ご家庭で椅子や玩具として使用しないでください。**
- **チャイルドシートが固い部分（自動車のドアやシートレールなど）の間に挟まって破損しないようにご注意ください。**
- **チャイルドシートが破損した場合（落とした後など）は、再使用しないでください。**

⚠注意

乗員の安全

- **基本的に、車両のシートバックが固定されており、自動車内にある重い物や尖った物がすべて十分に保護・固定されているように注意してください。**
- **乗員は全員シートベルトを締めていなければいけません。**
- **自動車内のチャイルドシートは、お子様が座っていない場合でも必ず固定してください。**

⚠注意

お子様の保護

- **基本：肩ベルトをお子様の体にぴったりするように締めると、安全性が高くなります。**
- **後座席での使用：前座席を前に引いて、お子様の足が前座席の背もたれにぶつからないようにします（怪我の危険があります）。**
- **お子様をチャイルドシートにすわらせたまま自動車に一人にしないでください。**
- **お子様は歩道側から乗り降りさせてください。**
- **お子様を暑さから保護するために、チャイルドシートを使用しない場合は、直射日光に当たらないようにしてください。**
- **長距離を運転される際には、お子様が体を動かせるように時々休憩してください。**

アドバイス

・車両シートの表皮（ビロードや革など）によっては、チャイルドシートを使用すると跡がつくことがあります。跡が付かないように、カバーやタオルを下に敷いてください。

9. お手入れ方法

カバーはシステム機能の重要な役割を果たしています。カバーが破損した場合は新しいカバーをお使いください。スペア部品は、販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。

⚠注意

- **チャイルドシートはカバーなしでは使用しないでください。**

アドバイス

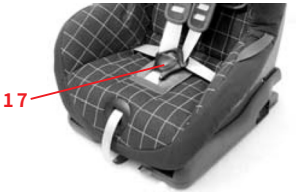
・**カバー**は、取り外して中性洗剤とぬるま湯（30℃）で手洗いできます。カバーの洗濯ラベルに記載されている洗濯方法に従ってください。30℃を超える温度で洗濯すると、カバーの生地の色がおちることがあります。カバーは脱水機・乾燥機に掛けないでください（生地とインナークッションが離れることがあります）。カバーを洗濯する際には、アジャストベルトガーニッシュは、取り外す必要はありません。

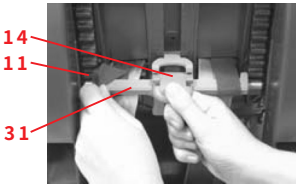
・**プラスチック部分**は、石鹸水で洗うことができます。強い洗剤（シンナーなど）は**使用しない**でください。

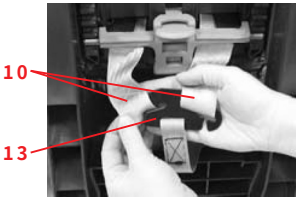
・**ベルト**は取り外して石鹸を溶かしたぬるま湯で洗うことができます。

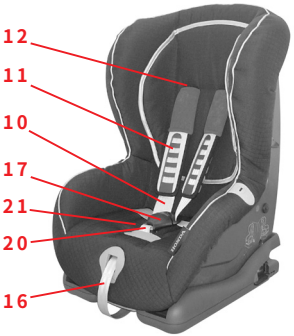
知識

タング(19)はベルトから取り外さないでください。



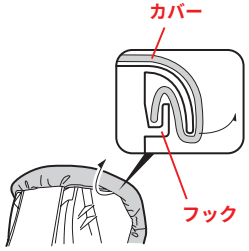




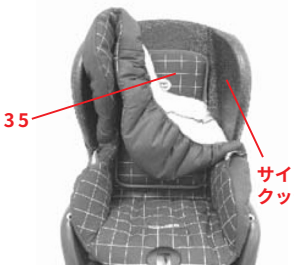


9.1 カバーの取り外し

- バックル(17)を開けて、ベルトをできるだけ緩めます（6.2 を参照）。
- カバーの全周を本体から外します。
- 本体の後ろ側にある肩ベルトアジャスター(14)のボタンを下に押して、肩ベルトアジャスター(14)を前に倒します。
- 肩パッド(11)のベルトの留め輪を肩ベルトアジャスター(14)の肩パッドホルダー(31)から取り外します。
- 本体の後ろ側で、肩ベルト(10)をベルトハンガー(13)から外します。取り外したベルトハンガー(13)を失くさないでください。取り外したベルトハンガー(13)が、アジャストベルト(16)を引く際などにシート底に**滑り落ちない**ようにご注意ください。
- 肩ベルト(10)を肩パッド(11)のベルトの留め輪を本体の穴(12)から引き出します。
- 肩パッド(11)を肩ベルト(10)から取り外します。
- アジャストベルト(16)とバックルベルト(20)を、バックル(17)とバックルクッション(21)と一緒にカバーから引き出します。



- カバーを内側のフックから取り外す。



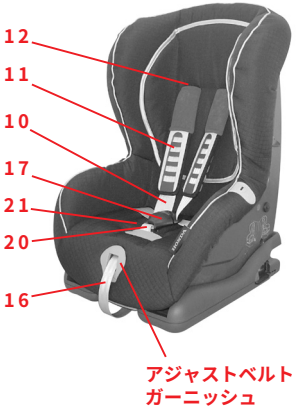
- 肩ベルト(10)をタング(19)と一緒にカバーから引き出します。
- ヘッドパッド(35)のカバーをとりはずします。

・この時、サイドクッションを破損しないようにしてください。

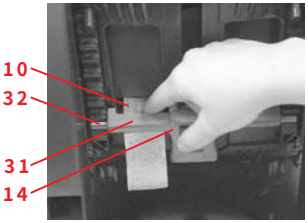
9.2 カバーの取り付け

- ヘッドパッド(35)を取り付けます。
- カバーを被せます。

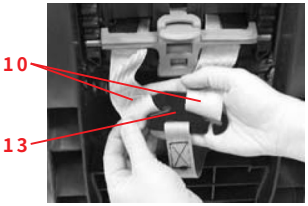
・この時、サイドクッションを破損しないようにしてください。



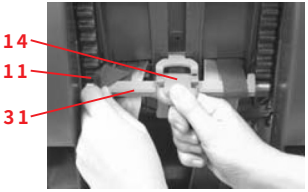
- 肩ベルト(10)をタング(19)と一緒にカバーに通します。
- 肩パッド(11)を肩ベルト(10)に取り付けます。
- バックルベルト(20)、バックル(17)とバックルクッション(21)、アジャストベルト(16)をカバーに通します。
- アジャストベルトガーニッシュを本体に取り付けます。
- 肩ベルト(10)を穴(12)に通します。



- 本体の後ろ側で、肩ベルト(10)と肩ベルトアジャスター(14)、ロックバー(32)と肩パッドホルダー(31)に通します。



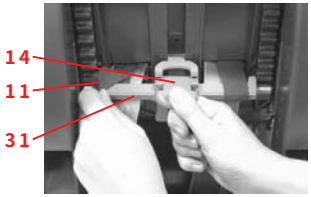
- 本体の後ろ側で、肩ベルト(10)を連結クリップ(13)に掛けます。
- 肩ベルト(10)のベルトの留め輪を穴(12)に通します。



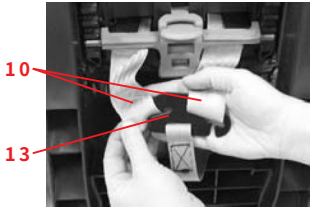
- 本体の後ろ側にある肩ベルトアジャスター(14)のボタンを下に押して、肩ベルトアジャスター(14)を前に倒します。
- 肩パッド(11)のベルトの留め輪を肩ベルトアジャスター(14)の肩パッドホルダー(31)に取り付けます。
- カバーを本体の外側に被せホックに取り付けます。

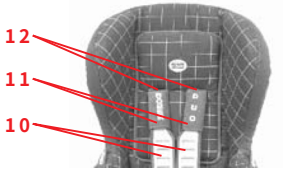
9.3 ベルトの取り外し

- バックル(17)を開けて、ベルトをできるだけ緩めます（6.2を参照）。

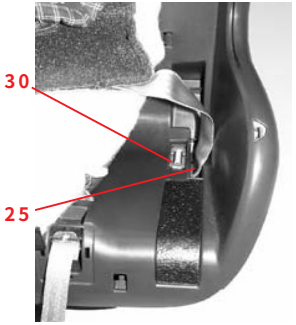


- シートシェルの後ろ側にある肩ベルトアジャスター(14)のボタンを下に押して、肩ベルトアジャスター(14)を前に倒します。
- 肩パッド(11)のベルトの留め輪を肩ベルトアジャスター(14)の肩パッドホルダー(31)から取り外します。
- 本体の後ろ側で、肩ベルト(10)をベルトハンガー(13)から外します。
取り外したベルトハンガー(13)を失くさないでください。取り外したベルトハンガー(13)が、アジャストベルト(16)を引く際などにシート底に**滑り落ちない**ようにご注意ください。

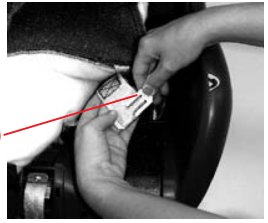




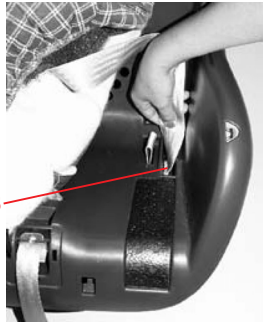
- 肩ベルト(10)と肩パッド(11)のベルトの留め輪を穴(12)から引き出します。
- 肩パッド(11)を肩ベルト(10)から取り外します。



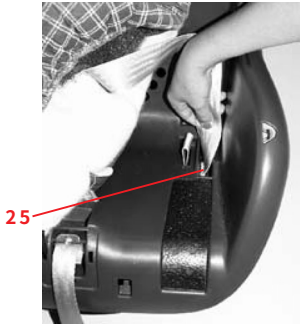
- カバーを外します。
- ベルトを本体に固定している金具(30)を引き出します。



- 金具(30)の短い側にあるベルトの留め輪を押し戻して、取り外します。
- 金具(30)をベルトの留め輪から押し出します。

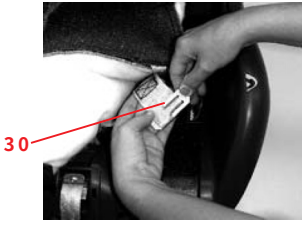


- ベルトを本体の横穴(25)とカバーから引き出します。

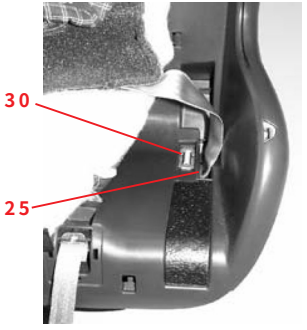


9.4 ベルトの取り付け

- 黒い縫い目のあるベルトの留め輪をカバーと本体の横穴(25)に通します。

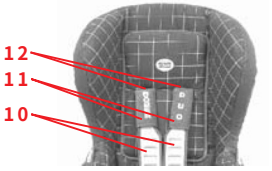


- 金具(30)を黒い縫い目のあるベルトの留め輪に通します。
- 金具(30)の長い側にあるベルトの留め輪を掛けます。
- 金具(30)の短い側にあるベルトの留め輪を押し戻して掛けます。

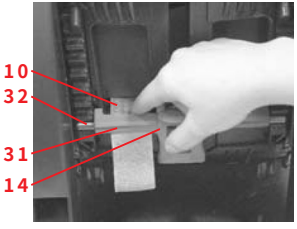


- 金具(30)が真っ直ぐに本体の溝に納まるまで、ベルトを引きます。

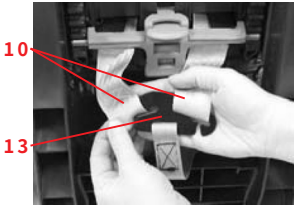
- アジャストベルト(16)をカバーに通します。
- カバーを被せホックを取り付けます。
- カバーのアジャストベルトガーニッシュを本体に取り付けます。



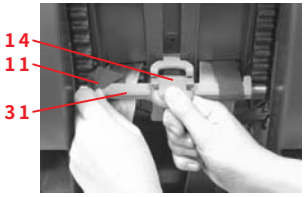
- 肩パッド(11)を肩ベルト(10)に取り付けます。
- 肩ベルト(10)を穴(12)に通します。



- 本体の後ろ側で、肩ベルト(10)を肩ベルトアジャスター(14)のロックバー(32)と肩パッドホルダー(31)に通します。



- 本体の後ろ側で、肩ベルト(10)をベルトハンガー(13)に掛けます。
- 肩ベルト(10)のベルトの留め輪を穴(12)に通します。



- 本体の後ろ側にある肩ベルトアジャスター(14)のボタンを下に押して、肩ベルトアジャスター(14)を前に倒します。
- 肩パッド(11)のベルトの留め輪を肩ベルトアジャスター(14)の肩パッドホルダー(31)に取り付けます。

10. 廃棄方法

お住まいの自治体の規制に従ってください。

11. 次のチャイルドシート

チャイルドシート	ECE R 44/04 に基づく試験と認定	
	グループ	体重
ジュニアシート	II + III	15〜 36 kg

●**商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または、(株) ホンダアクセス お客様相談室までお願いします。**

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」全国共通フリー ダイヤル

0120-663521（受付時間:**9時～12時 13時～17時**／但し、土日・祝祭日は除く）

発売元 株式会社ホンダアクセス　〒352-8589　埼玉県新座市野火止8丁目18番4号

不許複製 株式会社ホンダアクセス

08P90-E13-0000-8B